めじろ mejiro news

目白新聞
発行：目白新聞発行委員会
住所：〒170-0031
東京都豊島区目白3-1-24
メールアドレス：
meji-1@mail.goo.ne.jp
次号は9月発行予定
題字：社団法人 創玄書道会
加藤 有郷

目白から元気を届けたい
被災地への応援横断幕が完成！

6月2日(木)午後1時、小雨の降る中JR目白駅前広場において、東日本大震災で被災した人々を応援する横断幕の設置セレモニーが多数の関係者の参加により開催された。この横断幕は、地域ボランティア団体「目白駅美化同好会」の呼びかけがきっかけになり制作された。縦1.5メートル、横4メートルの横断幕には、中央に社団法人創玄書道会理事の加藤有郷氏の筆による題字「**目白から元気よとどけ！**」が力強く書かれ、そのまわりを**目白小学校6年生97名の生徒が書いた「花」**をテーマにした色とりどりの「花の絵」でちりばめられている。

参加した目白小学校6年生児童は、JR目白駅前に掲示された横断幕をうれしそうに見上げながら、自分の作品を見つけ歓声を上げた。

題字を書いた加藤氏は、「**被災者の苦難を思い、このメッセージが力となり勇気となるように願いを込めて書きました。**」と語った。

今回の子どもたちの活動を指導した目白小学校の図工担当、原 薫美子先生は

「3月11日、当時の5、6年生は、あきる野市に理科見学に出かけていました。帰りの電車を待つホーム上で地震に遭い、帰る交通手段がなくなり駅の近くにある公民館で一泊させていただくことになりました。夜は広く寒い格技場で非常用の毛布にくるまって眠りました。

そこでは、自分たちのために力を尽くしてくださった多くの方々の優しさ、普段の生活とは違う一晩を過ごし日々の何気ない生活のありがたさを感じました。

そのような体験や連日報道されている被災地の様子を目にし、私も子どもたちと共に人のために何かできることがないだろうかという思いがありました。このお話をいただいたとき、私は迷わず6年生の子どもたちと一緒にこの活動に参加したいという思いを持ちました。

エールポスターを見た多くの人が少しでも元気になれるよう『だれかのために強い強い思いをこめてつくる』ということを大切にしてつくろうということを話しました。

このポスターを通して被災地の方々、その家族、震災によって心を痛めている多くの人の心を癒し、目白駅をつかう方々の心を動かすものになることを願っています。子どもたち、私にとって貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。」

と感想を寄せている。

横断幕はJR目白駅前に3か月間掲示する予定だ。

目白美化同好会
菅野会長のご挨拶

和菓子 ①
去むら

備えてありますか？

目白新聞第五号でも取り上げたのですが、いざという時のために皆さんは何を備えていますか。東日本大震災の被害のものすごさに日本全体が凍り付いてしまったかのようなこの三ヶ月。自分の身のまわりを見回して、一体何が出来るのか。何をしておいたらよいのだろうか。少しずつ、個人、個人が考え出してきていると言えましょう。小さな道具が身を助けてくれたり、役にたったり。ここに少しだけ、手に入りやすいグッズを紹介してみます。

学校には常備されていても自宅にはなかなかありませんが、頭をまもるヘルメット。子ども達は訓練が身についていますが、大人はどうでしょうか。置いてあるだけで安心していませんか？グラッときたらすぐかぶるというくせをつけなくては。

ヘルメット

ヘルメットをかぶり避難用のバッグを背負って、外に出ようとしたら、足下が危ない。靴を手近に用意する。この写真の安全靴ほどしっかりしていなくても良いけれど、ガラスなどの破片が飛び散った家の中でも足下に注意が必要といわれています。

安全靴

次のものは何でしょうか。小さな笛と太陽電池式ライトです。このライト、キーホルダーに取り付けられるほどの大きさで、常日頃使える便利グッズです。それから笛。体調の悪い状況でも、かすかな息で吹くことができるという震災笛です。

手回し充電ライト

いまや、全人口のどの位の人が携帯電話を持っているのでしょうか。どの位の人が携帯電話に依存しているのでしょうか。今回の震災では、携帯電話がなかなかつながらず、つながっても電池がなくなってしまうのではという不安に襲われた人はたくさんだったはずです。

次に、これがなんだか判りますか

手回し充電ラジオ

手回し充電ラジオです。名前の通り手で回して充電し、ラジオを聞くだけでなく、携帯電話も充電することが可能なすぐれものです。

今回、いくつかご紹介いたしましたが、これらは、4年前に手に入れたものですので、いまやもっと進化しているかもしれません。

私たちは今回の大震災を忘れることなく、被災地の方々の声に、体験に謙虚に向き合って生きていかなければいけないと心深く思いました。

駅長日記

目白駅長
清水佳代子さん

まずは、東日本大震災で被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げたいと思います。また一日も早い復興をお祈り申し上げます。皆さんは、いかがお過ごしでしょうか。

私たちの目白駅も、ホームや壁の一部にヒビが入り、コンコースのライトがずれるなどの被害にあいました。そして山手線の新宿～新大久保間ではレールが歪み、運転ができない状況になりました。その後も停電の影響もあり、皆さんにご迷惑とご心配をおかけいたしましたが、今は、いつもの元気な目白駅に戻りました。また、東北地方についても海岸沿線の一部の線区を除いて復旧し、去る4月29日に約50日ぶりに東北新幹線も運転再開いたしました。

震災直後から駅前広場では、沢山の方が義援金募集活動をなさいました。そのたびに、皆さんのお優しい気持ちに触れ、感銘を受けました。去る5日には、目白第二保育園の皆さんによる「震災チャリティバザー」が開催され、多くの方々にご支援をいただいたとのこと、ご協力をありがとうございました。また、5月には、駅前のミニ田んぼ（駅美化同好会や目白幼稚園の皆さんと一緒に東北産のお米を植えました。秋には収穫を迎えることができるように大切に育ててまいりますので、優しく見守っていてください。

さて、当社では一昨年東日本全線を1日1万円で乗り放題のきっぷ「東日本パス」を発売し「専用宿泊プラン」もご用意しております。私も近いうちに宮城県石巻や仙台に住む友人に会いに行きたいと考えています。

最後になりましたが、夏には電力不足が予想されます。山手線や埼京線沿線は当社の自営発電所（水力・火力）の電力を活用しておりますが、少しでも節電をして余剰電力を東京電力へご提供、協力したいと考えております。したがって、目白駅も照明を落とし、時には支柱カレーターを停止するなど、ご不便をおかけする場合もあろうかと思います。皆で力を合わせて、気持ちよく夏を過ごしたいと思いますので、ご協力の程よろしく御願い申し上げます。（JR目白駅長）

お店探訪

亜細亜料理
Le Bistrot Ami
ビストロ・アミ

"Ami"はラテン語のアミーゴ（友達）を意味し、その名とおりワイ・ワイ楽しいひと時を過ごしていただければと思っています。

【亜細亜スペシャルメニュー】ベトナムのうどん"フォー"や生ハルマキ、バリ島の目玉焼きをのせたスパイシーチャーハン"ナシゴレン"など東南アジアを中心にした料理や一番人気のなすとひき肉の辛味噌炒めと花マキ・エビとたまごのチャイニーズオムレツなど中華系料理もあります。コース料理もございますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

【ドリンク】カメだし紹興酒や焼酎、日本酒、ワイン、モルトウイスキー等と一緒にアジアのビールやリキュール、ウイスキーも取り揃えています。7・8月は沖縄オリオンビールも登場します。

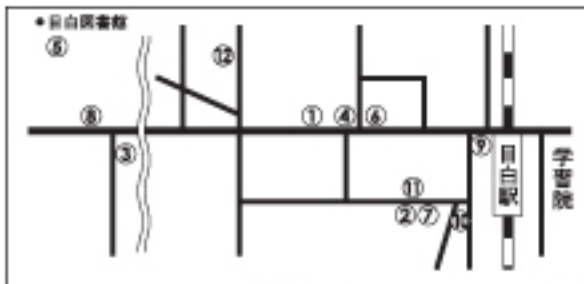
【おなかいっぱいランチメニュー】500円～のリーズブルかつボリューム満点。定食メニューや麺メニューもいっぱい。

【ダーツ】ダーツをお食事といっしょに皆さん楽しみませんか（22時以降）

【イベント】東日本大地震へのチャリティーライブや黒柳徹子国連大使へのチャリティーダーツ大会や蔵元を囲んでの日本酒会などなど。

素敵な目白の一員になれるよう頑張りたいと想っています。これからもよろしくお願いします。

営業時間
■ランチ
11:30～14:00
■ディナー
17:30～26:00
無休



ロシア雑貨店 マリンカ ⑤
Marinka マリンカ
大人気のマトリョーシカやチェブラーシカをはじめ、ロシアを代表する民芸品が豊富に品揃えするロシア雑貨の専門店。
住所：豊島区目白4-27-7（目白駅から徒歩12分、目白図書館すぐ近く）
電話：03-3565-3205
URL：http://www.marinka-zakka.com
OPEN：平　日 11時～17時
土曜日 11時～16時（日曜、祭日お休み。その他不定休あり。）

Ballerina ④
バレエ用品の
バレリーナ目白店
〒171-0031 豊島区目白3-13-1
T.Nビル3F, 4F
AM10:00～PM7:00
03-3952-3388

ID labo ③
ニットの企画・生産のアドバイス
仕様書、加工指示書、ニット設計書の作成など／各種ニット関連資料の提供／ニット製品の性能についての説明／カットソー製品の知識についての説明
有限会社 アイディ ラボ
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-16-10
TEL 03-3951-0159

亜細亜料理 ②
Le Bistrot Ami
ビストロ・アミ
TEL 5982-9560
ランチ 11:30～14:00（LO13:30）
定休日 日・祝日
ディナー 17:30～AM2:00（無休）
ビストロ NO・MI・NO市

ダイヤモンド輸入卸
宝飾品小売販売 ⑫
ジュエリーショップ
アンヴェール
TEL 03-3950-7117

SEIBU ⑪
西武写真印刷
オフセット印刷／オンデマンド印刷／カラーコピー・大判サイズコピー／DTP編集／電子出版／インターネット関連業務 他
TEL 03-3953-2778
FAX 03-3950-1452
URL http://www.j-seibu.co.jp/

⑩
Café de Daphné
カフェ・ド・ダフネ
LUNCHサービス ¥780
10:00～20:00
定休日 日祝日
03-3950-9712

⑨
クキモト
デンタルクリニック
豊島区目白3-3-1-5F
TEL：03-5996-0336
休診日：日曜・祝日
URL http://www.kukimoto.jp

⑧
Trattoria e Bar Italiano
TAPPA
di Al·Cione
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-21-6
興和第2ビル1F
tel & fax ● 03-5982-0688
18:00～22:30L.O.（日休）

⑦
目白動物病院
TEL 03-3953-0669
■診察時間
AM9:30～PM6:00
■休診日　日曜・祭日

創業 昭和23年 ⑥
首都開発株式会社
03-6915-3362
アパート・マンション・土地・建物・管理
お気軽にご相談ください。

クイズ応募・ご意見・広告・お店探訪の申し込みは
メールアドレス　meji-1@mail.goo.ne.jp

携帯電話からはQRコードを読み込んで下さい。（メール）

目白から元気よとどけ！

目白人インタビュー

■自己紹介（プロフィール）

【gon】年齢：32歳（目白歴5年）

10年ほど前に九州は福岡から音楽人をめざし上京。現在はレコーディングやライブなどのサポート・講師などをしています。

【大輔】年齢：31歳（目白歴7年）

大学卒業と共に上京（といっても埼玉から）。秩父とお酒と友達大好きな中年（二児の父）。

【gon以下G】【大輔以下D】

G…大輔っていつから目白に住んでるんだっけ？

D…だいたい七年前からかな？大学卒業してすぐ引っ越して来たんだよね。

G…自分も五年目になるけど、山手線沿線とは思えない程良い街だよね？

D…目白の第一印象は「閑静・平和・飲み屋が少ない」だったな（笑）

G…飲み屋が少ないって（笑）確かに娯楽という娯楽が無い街だよね。それがいい所でもあるんだけど。色んな所に住んだけど、こんなに地元密着させて貰ってるのは初めて。

D…目白駅前のお祭りがきっかけだよね。もう五年ぐらいお世話になってるな。

G…自分も同じくらい。

D…目白の人たちの優しさには本当に感謝だよ。見ず知らずの私と私の家族を、自分の家族同然に可愛がってくれてる。

G…自分は家族は居ないけど（笑）初めて会った時から今まで変わらずに、怒ってくれたり・励ましてくれたり・一緒に笑ってくれたり。

D…そうだね。目白の街も良いし、人も良い！自分達って運がいいよね（笑）ただもう少し目白の若い人達とも触れ合ってみたいな。特に学生さんとか！

G…地元の若い子や目白の学生とイベントできたらもっと目白が活気づくんじゃないかな？

D…若手といえば、最近目白若手会作ったね！月一回程集まって若手で話し合ってるんだよね。

G…今までお世話になった分、自分達から目白の皆が参加出来る企画を発信出来たらいいよね！

D…若手会で話した『東北復興支援イベント』目白駅前借りて物産展とか是非実現させたいね!!

G…この前福島に行って現地の人と話して来たよ。まだ企画段階だから具体的な話は出来なかったけど、みんな結構乗り気だった！

D…自分達って新参者だし、無力かもしれんけど、今やれる事を精一杯やりたいね！

G…若手会に限らず、これからも目白をもっと楽しい街にしていきたいね！

D…こうやって話すのって楽しいね。この勢いで飲みにいっちゃおうか？

G…それいいね！

G／D…こんな若輩者達ですが、これからも是非よろしくお願いいたします!!

■若手会への、ご意見・ご要望・お問い合わせは mejiro.wakatekai@hotmail.co.jp まで。

目白の昔

目白とジョン万次郎

何気ない会話から色々な人の証言を得て新しい発見につながる事が稀にある。雑司ケ谷霊園には、ご存知のように多数の著名人が眠っている。

ジョン万次郎（※1）もその一人だが、地元とのつながりは知られていなかった。

ある時、ジョン万次郎の子孫（3代目）が目白駅の近くで喫茶店を営んでいたという話を聞いた。地元の人に聞いても、何も確証は得られなかったが、ネットで知り合った方から重要な情報を得ることが出来た。

ジョン（中濱）万次郎

喫茶店『ルーエ』

なんとその方は戦後にジョン万次郎の子孫が経営していた下宿に間借りしていたというのだ。その方とは作曲家の**助川敏弥**氏で、音楽を志した方にはご存知の方も多いだろう。助川氏の記憶は鮮明で、「ルーエ」と名付けられたその喫茶店には学習院の関係者や元華族の人たちも訪れていたと言う。下宿していた頃、斜め向かいに「白鳥座」（※2）が開業し、その映画館で「真昼の暗黒」（※3）という映画を見た事、「ルーエ」はテラスのある当時としてはしゃれた平屋のつくりをしていた事、近くに「窓」という喫茶店もあったことを記憶していた。「ルーエ」は銀鈴の坂をおりて目白通りと平行にしばらく歩き、ちょうどみずほ銀行の裏の現在はコインパーキングになっている所にあったそうだ。

またジョン万次郎の子孫には医者や学者も多く、4代目も医者で残念ながら3年ほど前に亡くなられたそうだが、ジョン万次郎にかかわる貴重な資料や徳川慶喜公から贈られた書などもお持ちだったようで、あらたなつながりの中で皆様にご紹介できる日が来ることを願っている。冒頭にお話しした新しい発見の為に、今回の記事について何か情報をお持ちの方は「目白新聞」までご連絡いただければ幸いである。

※1　ジョン万次郎…本名中浜万次郎　1827～1898　高知県（土佐）中浜村出身、14才の時出漁中に遭難しアメリカ船に助けられそのまま米国に渡る。米国で英語や航海術を学び、帰国後その知識や英語力が徴用され通訳としても活躍。

※2　白鳥座…1953年目白に開業。

※3　真昼の暗黒…1956年制作　監督今井正　当時起こった『八海事件』を題材にした冤罪の恐ろしさをリアルなタッチで描いた問題作。

コミュニティ道路　目白地域・みちとまちの会の活動

道とその沿道がコミュニティ空間としての座を失ったのは、自動車時代が到来し、人に代わって、車が道の主役となった為でした。しかし、住宅地においては、あくまでも歩行者が主役であることに異論はないはず。住宅地内では車のスピードを下げ、歩行者や居住者が安全で快適に過ごせる沿道を創る事が出来たらどんなに素敵な事でしょう。歩行者・居住者と自転車や車が共存し、生活道路と言う新たな生活空間を生み出す、それがコミュニティ道路なんです。

私達の研究の対象は、明治通りから山手通りまでの目白全ての住宅地、二丁目から五丁目を貫通する約2kmの区道と沿道・周辺地区です。

コミュニティ道路

●安全な歩行空間を取り戻そう…車道巾を最小に歩道を最大限に

●地域外の車の通り抜け阻止…交通規制でできることは多い

●車両速度を20km／h以下に、歩車共存の方法…車道狭窄が有効、交差点の工夫、フォルト＊など。

●狭い道を有効活用、まちを美しく…電線地中化で電柱をなくそう

●沿道を快適で美しく…一人一人の試みでまちが美しく、楽しくなる

区の事業努力と皆様のご協力が必要です！

＊フォルトとは、路側または歩道境界から車道へ突き出て交通流を制御するもの。

「目白まちづくり倶楽部」が、広く地域の協力を得て豊島区の推薦、国土交通省の22年度住まい・まちづくり担い手事業の助成を受けて進めたこのコミュニティ道路プロジェクトの目標は、地域の手による研究・提案・発信／行政と協働で実現する仕組みと地域の受け皿を創ることでした。

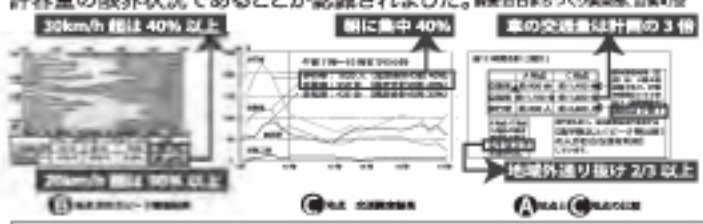
目白地域にコミュニティ道路を創る３つのキーワード！

キーワード1　沿道を生活空間に
家から道へ生活空間が広がる、コミュニティ意識も育つ

キーワード2　魅力ある町が地域資産・価値を高める
公の道と私的沿道空間、その双方の改善でまちの魅力をつくる

キーワード3　地域の個性を活かす
地域の文化・歴史を育む‥‥目白らしさを大切に

目白古道・北の交通調査



目白小北側道路で平成22年12月と23年1月に交通量調査やスピード調査を行いました。二台に一台が時速30㎞以上の速度スピードで走っているという結果も、通り抜けの車は三分の二以上という結果も前年度の古道北側での調査結果と殆ど同じです。

目白地域　みちとまちの会

目白二丁目から五丁目全ての町会とまちづくりグループ、有志が集まり、受け皿育成を目指し平成二十二年六月に検討会を立ち上げました。目白全ての住宅地を貫通する約二㎞の区道を対象に安全な道づくりを課題として、検討に取り組みました。最も身近でありながら、これまでその改善・向上を正面から取り上げてこなかった普通の住宅地を対象として、明日の住宅地のあるべき姿を求めました。

※この提案は現状道路の改善で行い、道の拡幅など個人領域に立ち入ることはありません。

区長原談

目白・まちづくりフォーラム開催

こうした活動結果を地域に発信する場として、今年一月二十九日、「目白地域・みちとまちの会」主催の『目白・まちづくりフォーラム』が開催されました。区長にもご出席いただいたフォーラム（講演会・展示）と展示コーナーに二百人もの方のご参加いただきました。熱心にメモを取られる方、担当スタッフに質問される方など、この活動に関心を寄せられる方も多く見受けられました。

また活動報告のパネルコーナーや目白の歴史を体験する「古地図や写真」コーナーにも大勢の方が来場されました。

フォーラム会場風景

豊島区長所信表明に取り上げられました！

今年の二月十日区議会本会議での高野豊島区長の所信表明において当活動が取り上げられました。内容は以下です。

『さる一月二十九日、『目白地域・みちとまちの会』主催による『目白・まちづくりフォーラム』が開催されました。目白地域のすべての町会や有志の皆さんが主体となり、コミュニティ道路づくりなど生活道路の安全・安心、住環境の改善に向け積極的に取り組む姿は、豊島区が目指すセーフコミュニティの精神に通じるものです。この地区では、平成二十四年八月から目白小学校の子どもたちが旧真和中学校の仮校舎に通う予定ですので、こうした機会を捉え、目白地区の生活道路の安全確保の手始めとしまして、コミュニティ道路として積極的に取り組んでまいりたいと考えています。』

「通り名」活動報告

二〇〇四年に引き続き、二〇一〇年度も更なる道の名前をと「通り名」の募集、選定を行いました。今回は四カ所の道について、一月の目白フォーラムにおいてアンケートを行い、十四名の選定委員により協議をしました。

選定の方法として、分かりやすく親しみやすい事。地域の独自性、歴史を生かす事。名前の差別化を計り、道の持つ吻匂性を大切にする事を確認しました。

道一　目白三丁目のりそな銀行横交差点から、目白五丁目を経由して山手通りまでの長い道です。コミュニティ道路の活動を通じて「目白通」の名称がかなり定着しています。

道二　徳川黎明会のレンガ塀りの館に面した道で、「徳川」を生かした名前がふさわしいとの意見です。例　目白徳川通り　徳川黎明会通り

道三　目白庭園に面した道で、「赤い鳥」出版の鈴木三重吉にちなんだ名前を地域の個性とする意見です。例　赤い鳥の小道　目白庭園通り

道四　目白駅から「銀鈴の坂」の階段に続く道です。湧き水にちなんだ美しい名を生かし、銀鈴通り、銀鈴の道との意見が出されました。

この選定はあくまで候補案です。更なる活動を通じて、沿道の方々に自然な形で定着し、行政に認知していただきたいと考えています。

クイズ

懸賞クイズ　懸賞品　5名様にプレゼント

目白小学校の生徒によって書かれた被災地への応援横断幕題字は

「目白から○○○○○○！」

ダイヤモンドストラップ　協賛：アンヴェール

クイズの答え
「目白から○○○○○○！」
住所　TEL
氏名　男女
年齢（○才代と明記して下さい）
興味を持った記事　2つ
その他（御意見・御要望等）

左記記載事項をご記入の上、ハガキ又はメールにて7月31日（当日消印有効）迄にご応募下さい。当選者の発表は次号に掲載致します。

携帯電話からはQRコードを読み込んで下さい。（メール）

宛先　目白新聞事務局
〒171-0031 東京都豊島区目白3-1-24
メールアドレス meji-1@mail.goo.ne.jp

前回の当選者
長岡栄子さん、長井光子さん、上山奈緒さん、高橋由紀夫さん、目白在住68歳女性

個人情報につきましては、懸賞クイズの発表以外使用いたしません。

第2回 目白新聞杯ゴルフコンペ

参加者大募集

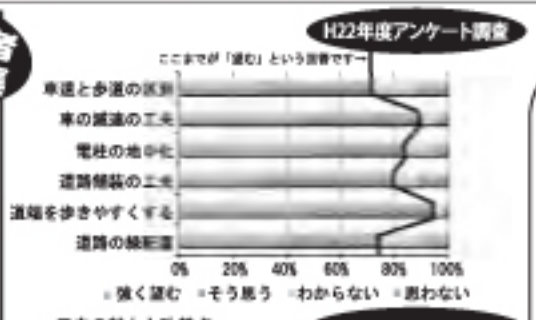
（震災チャリティコンペ）

開催日：平成23年8月28日（日曜日）
場　所：茨城ロイヤルカントリー倶楽部
費　用：概算 20,000円＋義援金
　コース精算　11,000円
　参加費　4,000円
　パーティ代・バス代　5,000円
競技方法：新ペリア方式
　義援金はチャリティポイント制
後　援：デサント・アティックジャパン
　目白祭遊会・アンヴェール　その他多数

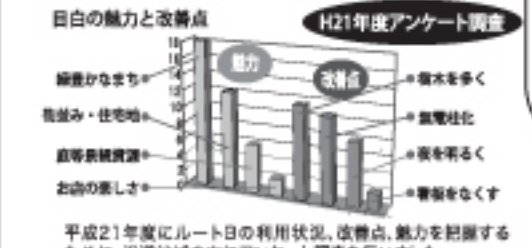
※朝6時30分頃目白出発。サロンバス利用（往復）

お申し込み方法⇒メール又はFAXでご連絡下さい。
メール：meji-1@mail.goo.ne.jp
FAX：03-3950-1452
〆切り 8/8

別途、案内状及び申し込み書を送らせて頂きます。



コミュニティ道路について、約六割の人が車の速度を時速二十㎞以下に求めています。道の状況に満足しておらず、何らかの工夫を求めています。七～八割の人が電柱の地中化、車の減速、歩道の整備を強く望んでいます。



平成21年度にルート目の利用状況、改善点、魅力を把握するために、沿道地域の方にアンケート調査を行いました。

クイズ応募・ご意見・広告・お店探訪の申し込みは
メールアドレス　meji-1@mail.goo.ne.jp

携帯電話からはQRコードを読み込んで下さい。（メール）

目白から元気よ飛べ！